

大垣都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(概要版)

都市計画の目標

今後は、これまでの都市計画を継承しつつ、本区域特有の風土や自然環境を効果的に活用していくことはもちろん、都市の活力を維持していくため、集約型都市構造への転換を考慮した土地利用の再構築や都市機能の拠点の拡充・整備、道路・公園等の都市基盤の整備を進めるとともに、名神高速道路や(都)東海環状自動車道、国道などへのアクセス性を活かした産業の誘導などを図っていく必要があります。

そこで、本区域の都市づくりの基本理念を次のように設定します。

「暮らしやすさを実感できる産業文化都市の形成」

区域区分の有無及び区域区分を定める際の方針

本区域においては、無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため、引き続き区域区分を定めるものとします。

概ねの人口 (2030年)	産業の規模 (2030年)		市街化区域の規模 (2030年)
都市計画区域	195.0千人	製造品出荷額等	概ね 4,814ha
市街化区域	155.6千人	商品販売額	

主要な都市計画の決定の方針

土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

住居系	<ul style="list-style-type: none"> 集約型都市構造への転換を図るため、立地適正化計画等の方針に基づき、中心市街地から放射状に運行する基幹的な公共交通路線の沿道に居住を誘導します。 公共交通や徒歩により、中心拠点や地域拠点へ容易にアクセスできる、生活利便性の高い区域に居住を誘導します。 人口密度が高い住宅地においては、今後も人口密度の維持を考慮した計画的な市街地整備を進めます。 大垣市の中心市街地は、市街地再開発事業等によって、良好な住宅地の形成を進めます。 工場跡地の土地利用転換により住宅団地等が形成されている地区については、周辺に立地する建築物等の状況を勘案しながら、居住環境の保全を図っていきます。 鉄道沿線など、基盤整備された駅周辺での計画的な土地利用を図ります。 計画的な土地利用の規制・誘導が図られている地区や市街化区域に隣接し開発圧力の高い地区については、今後とも良好な市街地の形成及び維持・保全を進めます。
商業系	<ul style="list-style-type: none"> 集約型都市構造への転換を図るため、立地適正化計画等の方針に基づき、中心拠点や地域拠点に商業機能を誘導し集約を進めます。 既に大規模集客施設が立地し、各地域の拠点を形成している地区については、周辺の環境と調和を図りながら商業機能の発展・維持を推進し、集積の高い地区においては、土地の合理的かつ健全な高度利用を図ります。 都市機能を新たに移転する場合には、沿道サービス施設等の商業機能の充実を図ります。 大垣市の中心市街地は、西濃圏域の中心商業・業務地としての役割を果たしており、今後も、商業・業務機能の集積・強化を図るため市街地再開発事業等を進めます。 <p>【優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域】 宮代地区、中須地区(安八温泉周辺)</p>
工業系	<ul style="list-style-type: none"> (都)東海環状自動車道の整備に伴う高速交通体系等の充実による利便性を活かし、インターチェンジ周辺及びアクセス道路となる幹線道路沿線に新規の工業系土地利用を図ります。 既存工業地については、周辺の住宅地や農地の環境を保全しつつ、一層の工業集積、生産環境の整備を進めます。 既存工業の拡張を図る場合には、市街化区域の拡大や地区計画を活用しつつ、既存工業の受け皿となる基盤整備を図ります。 <p>【優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域】 浅西地区、横曽根地区、野口地区、外渕地区、長沢・犬ヶ渕地区、西座倉地区、西保地区、中地区等</p>

都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

道路	<ul style="list-style-type: none"> 幹線街路については、多様な都市交通需要への対応、良好な市街地の形成、都市の適正かつ合理的な土地利用の促進等の視点を踏まえ、都市計画道路網の総合的な整備を進めます。 都市計画道路は、社会経済情勢の変化を考慮しつつ必要性を検証し、適時適切な見直しを行い、真に必要な路線を優先した効率的な整備を図ります。 高速交通体系については、(都)東海環状自動車道の整備を促進します。 (都)東海環状自動車道大垣西インターチェンジ及び大野神戸インターチェンジの整備に伴い、各インターチェンジへの利便性を強化するアクセス道路の整備を進めます。 名神高速道路の安八スマートインターチェンジ開通による、交通利便性の向上とともに、揖斐川・長良川渡河部の交通分散や災害時における緊急避難経路の確保を進めます。
下水道	<ul style="list-style-type: none"> 河川の水質汚濁等の要因のうち生活雑排水の影響が大きくなってきていることから、下水道の整備は既成市街地を中心に進められており、今後も普及率向上を目指して効率的な整備を進めます。 下水汚泥などは、豊富な資源エネルギー源として再利用し、環境負荷の軽減や、循環型社会の再構築に向けて有効活用を図ります。
河川	<ul style="list-style-type: none"> 都市化の進展を踏まえつつ、必要とされる治水上の安全を確保し、自然的環境を踏まえた河川の整備を進めます。 治水整備については、河川の整備のみならず、流域の持つ保水・遊水機能の適切な保全を併せて推進します。 従来から遊水機能を有する土地において、やむを得ない開発を行う場合には、事業者に対して、代替施策の実施により従前の保水・遊水機能を保全させるなど、総合的な治水対策を推進します。 開発行為等による河川への雨水流出量の増加に対しては、調整池等の設置により対処します。 市街化区域へ編入する地区については、市街化区域の編入前に比べ河川への雨水流出量が増加しないよう調整池等の設置により治水対策を進めます。

市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針

- 市街地整備については、既成市街地の再整備を優先して行います。
 - 集約型都市構造の実現を目指し、官民が協働した多様かつ柔軟な市街地開発事業等により良好な市街地の形成に努めます。
 - 大垣市の中心市街地では、本区域の中心都市として都市機能の充実及び防災性の向上を図るため、市街地再開発事業等を進めます。
 - 市街化区域においては住環境等の改善向上を進めるとともに、都市的低・未利用地については、土地区画整理事業の実施等によって整序を図り、良好な市街地として整備を進めます。
 - 神戸町では、(都)東海環状自動車道大野神戸インターチェンジの開通を活かした計画的な土地利用を図るため、土地区画整理事業を活用したまちづくりを進めます。
- 【優先的に実施する事業】
郭町東西街区土地区画整理事業、郭町東西街区市街地再開発事業、高屋町地区市街地再開発事業、西座倉土地区画整理事業

自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

- 都市化の進展や都市の再生に対応して調和のとれた自然的環境の保全と土地の合理的・効率的利用を行いつつ、個性と魅力にあふれたまちづくりを進めます。

大垣都市計画区域 総括図



大垣都市計画区域総括図 凡例			
	都市計画区域界		住居系
	市街地(市街化区域)		商業系
	主要な道路		工業系
	高速道路(高規格)		その他(農地、集落他)
	主要な道路(構想)		その他(森林他)
	駅前広場		大規模集客施設立地エリア
	鉄道		市街地開発事業
	主要な河川		優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域
	主要な公園・緑地等		
	その他主要な都市施設		